

スマイル子育て便り

釧路市児童発達支援センター 令和4年8月1日発行 No.15

夏真っ盛りのこの時期は、帰省やおまつりなど、イベントが盛りだくさん！

でも、中には“いつもと違うこと”や“初めての経験”を不安に感じてしまうお子さんもいるのではないのでしょうか？ そのようなときは、**大人がお手伝いをして**「楽しかったね！」「上手にできたね！」という経験につなげましょう！

落ち着いて楽しめているときはどんなとき？



安心グッズがあるとき



“どこに行くか” “なにをするか” がわかっているとき



お手伝いの方法を考えましょう！

その1. 安心するための準備をしましょう！

- ◎ぬいぐるみなど**安心できるグッズ**を用意する。
- ◎**行先の写真**を用意する。 など



その2. どこで何をするのかを知らせましょう！

- ◎「おまつりで綿あめを食べよう！」と**具体的に伝える**。
- ◎**事前に行先の写真を見せて**「ここで花火を見ようね！」と知らせる。

その3. “いつ” するのかを伝えましょう！

- ◎(**カレンダーに印をつけて**)「この日に出かけるよ！」と知らせる。
- ◎「**タイマーが鳴ったら出発するよ!**」と伝える。 など

参加が難しいときのお手伝い方法も考えましょう！

たとえば

- 花火など大きい音が苦手であれば、車内など**静かなところ**から見る。
- 不安や緊張があれば、手つなぎやだっこで**安心できるように**する。
- **短い時間**で切り上げる。
- 浴衣など着なれない衣服を嫌がる時は、**普段の衣服**で参加する。 など



「どのようなお手伝いをしてあげたらいいのかな？」と迷うときは、家族や友人、先生などの周囲の人に相談してみると新たなヒントを得られるかもしれません。“いつもと違うこと” “初めての経験” に対するお子さんの不安が少しでも和らぐように、みんなでお手伝いの方法を考えていきましょう！

※ 伝え方やほめ方のポイントなど、これまでのスマイル子育てだよりは釧路市 HP に掲載しています。

(<http://www.city.kushiro.lg.jp/kosodatekyouiku/kosodate/1005280/1005394/1005403/1007371.html>)

※ 質問や相談がありましたら、気軽に児童発達支援センター職員に声をかけてください。

- ◇ 地域支援相談担当 44-3555
- ◇ 野のはな園 44-1022



スマイル子育てだより
バックナンバーはこちら